

No. 1391

火災シーズンに備えて

— 東京・野方 —

11月26日から秋の火災予防運動が始まります。東京、中野区の野方消防署ではこの火災予防運動を前に11月16日、消防少年団による防災診断を実施しました。今年の2月発足以来初めての出勤とあって一日消防官の辞令を受ける各団員はちよっぴり緊張ぎみ。まずは駅前広場で火災予防PR作戦。道行く人にポケット灰皿、ちらしを配布し、火の用心を訴えました。商店街では本職の消防官といっしょに防災診断。せまい路地までていねいに見て回り、その危険の多さに改めてびっくり。つづいてデパートの査察。防災センターでは火災発生と同時にいかにすみやかにかつ安全に避難するか、説明を受けました。この他、非常口、消火器などの点検なども行いました。東京都内だけでも昨年一年間に7365件の火災が発生、焼死者は152人に昇っています。これからは火災が多く発生する季節、火のもとには十分に注意したいものです。

王選手、現役引退!!

11月4日、読売巨人軍の王貞治選手が突然、現役を引退した。日本プロ野球界にとって長島監督の辞任と共にあまりにも大きな出来事であった。引退した王選手は今後、巨人軍の助監督として新しい道を踏み出すことになった。王選手は昭和33年10月早稲田実業から巨人軍に入団。前年の長嶋に続いての大型新人の入団であった。翌年の34年、後樂園で行われた対国鉄戦で7番、一塁手としてデビュー。6月25日の天覧試合では長嶋選手と共に阪神小山投手から同点ホームラン。ONアベックホームランの記念すべきスタートとなった。正力オーナー夫妻の媒酌で小八重恭子さんと結婚したのは昭和41年12月1日。荒川コーチと血のにじむような練習の末、昭和37年あみ出された一本足打法はみごと花開き、39年には本塁打日本新の53号、48年には初の三冠王に輝いた。そして長嶋と共に巨人黄金時代の原動力となった。昭和52年9月3日、日本ぢゅうが「世界の王」にわき返った。対ヤクルト戦、鈴木のストレートを右翼席に運び、アーロンを抜く756号世界新記録を達成した。この年新たに創設された国民栄誉賞第1号に選ばれた。11月8日ナゴヤ球場で行われたセ・リーグ東西対抗戦はスーパースター王の送別の華やかな舞台だった三万三千の大観衆の「入れ、入れ、」の合唱に送られたホームランはほんとに最後のお別れアーチ。ファンの惜しみない拍手に答える王選手。この日、中日の高木選手も引退した。厳しい勝貞の世界に生きながら、時おり見せるあの優しい笑顔、そのあたたかさが人々の心をとらえて離さない。22年間、数々のタイトルと共に残した868本のホームランは世界に誇る金字塔だ。かってこれほどの打者がいたのだろうか。王選手は静かにバットを置いた。あの華麗な一本足打法を我々は二度と見ることはできない。